



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL http://www.ds-pharma.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 エグゼクティブ コミュニケーションオフィサー (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	364,121	19.2	55,943	26.5	57,985	16.3	50,591	71.1
29年3月期第3四半期	305,507	0.3	44,241	42.3	49,864	60.2	29,571	26.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 63,916百万円(86.9%) 29年3月期第3四半期 34,203百万円(25.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	127.34	—
29年3月期第3四半期	74.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	841,811	516,625	61.4
29年3月期	793,950	460,656	58.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 516,625百万円 29年3月期 460,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
30年3月期	—	9.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	19.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	474,000	15.1	72,000	36.5	72,000	32.5	55,000	89.7	138.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	397,900,154株	29年3月期	397,900,154株
30年3月期3Q	601,468株	29年3月期	600,484株
30年3月期3Q	397,299,259株	29年3月期3Q	397,300,708株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。

・当社は、平成30年1月30日(火)に機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、日本セグメントでは、前年同期に比べ長期収載品の売上は減少しましたが、高血圧症治療剤「アイミクス」、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」および2型糖尿病治療剤「トルリシティ」等プロモーション品の売上が増加した結果、増収となりました。北米セグメントでは、非定型抗精神病薬「ラツダ」の売上が大きく拡大したこと等により、大幅な増収となりました。これらの結果、連結合計では3,641億21百万円（前年同期比19.2%増）となりました。営業利益は、研究開発費等の販売費及び一般管理費は前年同期に比べ増加しましたが、増収による売上総利益増加の影響が大きく、559億43百万円（同26.5%増）となり、経常利益は579億85百万円（同16.3%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社の生産本部における早期退職者募集の結果に基づき、特別損失として事業構造改善費用を計上しましたが、米国での税制改正の法案成立等の影響により法人税等が減少したことから、505億91百万円（同71.1%増）と大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

「トルリシティ」の売上が大きく伸長したことに加え、「アイミクス」、「トレリーフ」およびファブリー病治療剤「リプレガル」等の増収が、長期収載品の減収を補い、売上高は1,129億57百万円（同4.0%増）となりました。セグメント利益は、人件費の減少や販売関連費用の削減等による販売費及び一般管理費の減少により、352億79百万円（同12.9%増）となりました。

② 北米

主力品である「ラツダ」や抗てんかん剤「アプティオム」の売上が拡大したことに加え、シクレソニド3製品（喘息・アレルギー性鼻炎治療剤）の販売権譲渡による一時的な収益計上等により、売上高は1,915億59百万円（同33.4%増）となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加の影響が大きく、777億66百万円（同25.1%増）となりました。

③ 中国

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」を中心に売上が引き続き堅調に推移したことから、売上高は154億40百万円（同19.4%増）、セグメント利益は57億17百万円（同23.2%増）となりました。

④ 海外その他

新たに開始した東南アジア5カ国および香港における「メロペン」事業の寄与等により、売上高は105億84百万円（同43.2%増）、セグメント利益は28億59百万円（同81.5%増）となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は335億78百万円（同1.8%増）、セグメント利益は22億5百万円（同24.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、流動資産は、繰延税金資産や棚卸資産等は減少しましたが、現金及び預金や受取手形及び売掛金等が増加したことにより、前期末に比べ306億44百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産や無形固定資産は減少しましたが、投資有価証券が増加したことにより、前期末に比べ172億15百万円増加しました。これらの結果、総資産は前期末に比べ478億60百万円増加し、8,418億11百万円となりました。

負債については、売上割戻引当金等が増加しましたが、有利子負債や繰延税金負債が減少したこと等により、前期末に比べ81億8百万円減少し、3,251億85百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加に加え、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定等の増加により、前期末に比べ559億69百万円増加し、5,166億25百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は61.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成29年10月30日に公表した平成30年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	474,000	72,000	72,000	47,000	118.30
今回修正予想 (B)	474,000	72,000	72,000	55,000	138.43
増減額 (B-A)	—	—	—	8,000	—
増減率 (%)	—	—	—	17.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	411,638	52,759	54,341	28,991	72.97

売上高、販売費及び一般管理費とも概ね想定通り推移しており、売上高、営業利益および経常利益に修正はありません。

親会社株主に帰属する当期純利益は、米国における税制改正の影響により税金費用の減少を見込んでいること等から、80億円増の550億円に修正します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,408	104,412
受取手形及び売掛金	110,932	125,014
有価証券	34,195	32,361
商品及び製品	54,973	51,416
仕掛品	3,356	3,912
原材料及び貯蔵品	10,477	9,954
繰延税金資産	60,956	52,516
短期貸付金	16,731	14,690
その他	13,427	12,826
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	376,454	407,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,726	96,522
減価償却累計額及び減損損失累計額	△57,174	△58,973
建物及び構築物（純額）	38,551	37,549
機械装置及び運搬具	79,585	78,741
減価償却累計額及び減損損失累計額	△72,820	△72,432
機械装置及び運搬具（純額）	6,765	6,308
土地	6,264	6,267
建設仮勘定	3,112	4,007
その他	32,353	32,311
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,794	△27,838
その他（純額）	4,559	4,473
有形固定資産合計	59,253	58,607
無形固定資産		
のれん	90,565	86,452
仕掛研究開発	193,970	174,008
その他	19,774	38,402
無形固定資産合計	304,310	298,863
投資その他の資産		
投資有価証券	48,034	69,212
退職給付に係る資産	646	915
繰延税金資産	710	146
その他	4,568	6,997
貸倒引当金	△29	△32
投資その他の資産合計	53,931	77,240
固定資産合計	417,495	434,711
資産合計	793,950	841,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,514	14,458
短期借入金	40,000	5,500
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	8,000	2,800
未払法人税等	8,818	6,289
賞与引当金	10,986	7,510
返品調整引当金	11,315	12,675
売上割戻引当金	65,652	75,463
未払金	36,986	41,349
その他	22,172	19,815
流動負債合計	228,447	205,862
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	—	31,000
繰延税金負債	32,583	20,907
退職給付に係る負債	13,498	13,722
その他	48,764	53,692
固定負債合計	104,846	119,323
負債合計	333,293	325,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	363,627	406,273
自己株式	△666	△668
株主資本合計	401,221	443,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,439	28,865
繰延ヘッジ損益	△20	11
為替換算調整勘定	45,729	48,802
退職給付に係る調整累計額	△4,712	△4,919
その他の包括利益累計額合計	59,435	72,760
純資産合計	460,656	516,625
負債純資産合計	793,950	841,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	305,507	364,121
売上原価	74,343	93,170
売上総利益	231,163	270,950
返品調整引当金戻入額	2	0
差引売上総利益	231,166	270,951
販売費及び一般管理費		
給料	29,922	31,115
賞与引当金繰入額	3,703	4,099
退職給付費用	3,375	2,766
研究開発費	57,167	67,903
その他	92,756	109,122
販売費及び一般管理費合計	186,925	215,007
営業利益	44,241	55,943
営業外収益		
受取利息	619	770
受取配当金	1,028	887
為替差益	4,849	1,234
その他	346	442
営業外収益合計	6,844	3,334
営業外費用		
支払利息	474	290
寄付金	487	442
その他	258	559
営業外費用合計	1,220	1,292
経常利益	49,864	57,985
特別利益		
投資有価証券売却益	4,813	—
特別利益合計	4,813	—
特別損失		
事業構造改善費用	9,992	1,934
特別損失合計	9,992	1,934
税金等調整前四半期純利益	44,685	56,051
法人税等	15,113	5,459
四半期純利益	29,571	50,591
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,571	50,591

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	29,571	50,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,160	10,426
繰延ヘッジ損益	22	31
為替換算調整勘定	8,606	3,073
退職給付に係る調整額	163	△206
その他の包括利益合計	4,631	13,325
四半期包括利益	34,203	63,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,203	63,916
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	108,563	143,624	12,930	7,389	272,507	32,999	305,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	—	—	—	41	53	94
計	108,604	143,624	12,930	7,389	272,548	33,052	305,601
セグメント利益	31,246	62,149	4,641	1,575	99,613	1,769	101,383

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	99,613
「その他」の区分の利益	1,769
研究開発費(注)	△57,167
セグメント間取引消去	24
四半期連結損益計算書の営業利益	44,241

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	112,957	191,559	15,440	10,584	330,542	33,578	364,121
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	—	—	—	55	57	112
計	113,012	191,559	15,440	10,584	330,597	33,635	364,233
セグメント利益	35,279	77,766	5,717	2,859	121,623	2,205	123,828

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	121,623
「その他」の区分の利益	2,205
研究開発費(注)	△67,903
セグメント間取引消去	18
四半期連結損益計算書の営業利益	55,943

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。